

平成25年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社  
 コード番号 4783 URL <http://www.ncd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 下條 治  
 (氏名) 山田 直起

TEL 03-5437-1021

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,561	△5.9	△105	—	△89	—	△57	—
25年3月期第1四半期	2,721	2.8	△31	—	△19	—	△24	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △53百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△6.53	—
25年3月期第1四半期	△2.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,590	2,532	26.4
25年3月期	9,568	2,629	27.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,532百万円 25年3月期 2,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.8	280	17.4	300	3.8	130	8.6	14.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	8,800,000 株	25年3月期	8,800,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	78,516 株	25年3月期	78,516 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	8,721,484 株	25年3月期1Q	8,721,558 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復を背景に、アベノミクスへの期待感から株価の回復を伴って明るい兆しが見られました。しかしながら、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷などにより海外景気の下振れが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当情報サービス業界におきましては、クラウドコンピューティングやスマートフォン、タブレット型端末の普及を背景に、企業の情報関連投資は一部改善傾向にありますが、全体的には慎重な姿勢が続いております。

このような環境のもと当社グループにおきましては、昨年に引き続き『Change & Challenge』をスローガンとし、以下の目標を掲げ、環境の変化に即応するアクティブな企業体質への転換を加速させてまいりました。

- ① 新たな市場の獲得により、収益基盤の安定化を図る
- ② 次代のNewサービスを創出するための仕組み・体制を推進する
- ③ 付加価値を高め、コアベンダーとしての地位を確実なものとする
- ④ 次代の自転車関連事業の創出と、業界での絶対的優位の確立

特に当期におきましては、「スマートビジネス部」「アジア推進部」をIT事業部から独立させ、次代を担うNewサービスの創出を強力に推進しております。しかしながら、IT関連事業の大規模新規案件の延期による待機要員の発生や、パーキングシステム事業の新規案件不足などにより、当社単独業績では、売上、利益とも昨年を下回る結果となりました。一方、子会社の株式会社ゼクシス及び株式会社日本システムリサーチは、内製化への切り替えとコスト削減効果により、ともに利益を確保することができました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、2,561百万円（前年同期比5.9%減）、営業損失105百万円（前年同期は営業損失31百万円）、経常損失89百万円（前年同期は経常損失19百万円）、四半期純損失57百万円（前年同期は四半期純損失24百万円）となりました。

セグメント別概況につきましては、システム開発事業は、安定した受注の確保は続いておりますが、待機要員等のロスを補うまでには至りませんでした。この結果、売上高1,164百万円（前年同期比3.6%減）、売上総利益124百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

サポート&サービス事業におきましては、順調な増員要請に基づく将来の事業拡大を目指し、技術者の新規採用や業務ローテーションを積極的に行ってまいりました。また、新規領域の獲得による投資額の影響により、当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期を大きく割り込んでしまいましたが、第2四半期以降は改善の方向に向かうと思われれます。この結果、売上高585百万円（前年同期比4.2%減）、売上総利益41百万円（前年同期比51.0%減）となりました。

パーキングシステム事業におきましては、大規模案件の新規受注が少なかったこともあり、前年同期に比べ業績こそ振るいませんでしたが、新商品のECOP00L（エコプール）の受注が決まり始めるなど、明るい兆しは見えております。この結果、売上高789百万円（前年同期比11.1%減）、売上総利益115百万円（前年同期比22.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し、9,590百万円となりました。増加した主なものは、現金及び預金の400百万円、仕掛品の123百万円であります。一方、減少した主なものは、受取手形及び売掛金の397百万円、リース債権及びリース投資資産の117百万円であります。負債は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し、7,057百万円となりました。増加した主なものは、流動負債その他の513百万円であります。一方、減少した主なものは、賞与引当金の152百万円、リース債務の112百万円及び買掛金の98百万円であります。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、2,532百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の27.5%から26.4%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループのシステム開発事業におきましては、引き続き営業に力を入れることにより安定的に受注を確保してまいります。一方、Newサービス創出を目指し発足させた「スマートビジネス部」「アジア推進部」を早急に軌道に乗せ、収益が期待できる部署に育ててまいります。

サポート&サービス事業におきましては、引き合い案件も多く、技術要員の確保と業務ローテーションを継続的に実行し、事業拡大を目指してまいります。

パーキングシステム事業におきましては、長年にわたりパーキングシステム事業を支えてきたEcoStation21（エコステーション21）、コミュニティサイクル（※1）のecoport（エコポート）、月極め駐輪場システムの新商品ECOPool（エコプール）の3商品を柱に街の駐輪問題を解決する新時代の駐輪システムとして、競合他社との差別化を図ることにより、新たな需要を確実に受注につなげてまいります。

以上により、今期業績につきましては、平成25年5月13日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想に変更はございません。

## （※1）コミュニティサイクル

この事業は、自転車の貸し出し・返却の拠点をサービス地域内に複数箇所設置し、利用者が各拠点に設置してある自転車を、場所を限定せずに利用・返却でき、利用時間によって課金するサービスを提供するものです。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,216,797	2,617,174
受取手形及び売掛金	1,898,151	1,500,614
商品及び製品	57,247	82,524
仕掛品	87,451	211,339
その他	1,163,406	1,136,888
貸倒引当金	△400	△229
流動資産合計	5,422,655	5,548,313
固定資産		
有形固定資産	887,280	899,122
無形固定資産		
のれん	108,835	96,009
その他	177,106	186,833
無形固定資産合計	285,941	282,842
投資その他の資産		
リース債権及びリース投資資産	1,891,331	1,774,112
その他	1,089,694	1,093,534
貸倒引当金	△8,000	△7,900
投資その他の資産合計	2,973,026	2,859,747
固定資産合計	4,146,249	4,041,712
資産合計	9,568,904	9,590,025
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	431,634	333,043
短期借入金	1,065,901	1,083,100
1年内返済予定の長期借入金	198,400	160,500
賞与引当金	356,257	204,161
その他	1,398,429	1,912,161
流動負債合計	3,450,622	3,692,966
固定負債		
長期借入金	75,000	50,000
リース債務	1,871,614	1,759,283
退職給付引当金	1,332,656	1,368,433
役員退職慰労引当金	152,879	118,802
その他	56,849	68,134
固定負債合計	3,489,000	3,364,653
負債合計	6,939,622	7,057,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,750	438,750
資本剰余金	903,593	903,593
利益剰余金	1,286,611	1,186,000
自己株式	△19,402	△19,402
株主資本合計	2,609,553	2,508,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,114	22,609
為替換算調整勘定	613	853
その他の包括利益累計額合計	19,728	23,462
純資産合計	2,629,281	2,532,405
負債純資産合計	9,568,904	9,590,025



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,721,980	2,561,851
売上原価	2,351,939	2,276,665
売上総利益	370,040	285,186
販売費及び一般管理費	401,742	390,734
営業損失(△)	△31,701	△105,548
営業外収益		
受取利息	558	18
受取配当金	1,523	1,337
受取保険金及び配当金	7,192	13,872
その他	8,031	5,957
営業外収益合計	17,306	21,187
営業外費用		
支払利息	4,778	4,200
その他	271	631
営業外費用合計	5,049	4,832
経常損失(△)	△19,444	△89,193
特別損失		
固定資産除却損	11,993	—
特別損失合計	11,993	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,438	△89,193
法人税等	△6,800	△32,190
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,637	△57,003
四半期純損失(△)	△24,637	△57,003

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,637	△57,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,300	3,494
為替換算調整勘定	132	239
その他の包括利益合計	△2,168	3,734
四半期包括利益	△26,806	△53,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,806	△53,269
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。